

ICT 通信

第27号



青梅市立第六小学校研究部

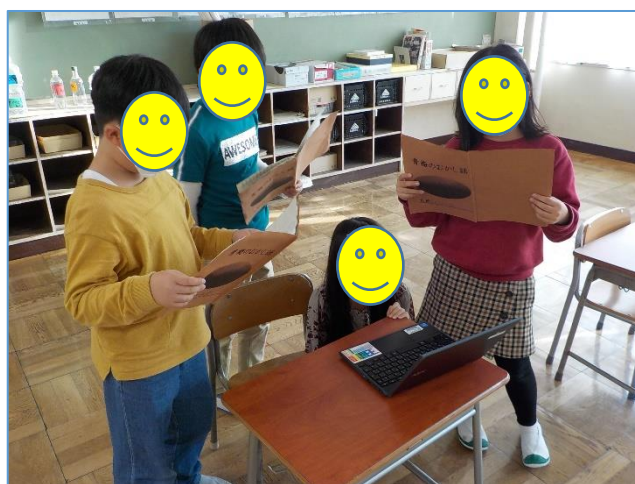
発行者 研究部 猪野郁也

発行日 令和3年11月8日(月)

「ドキュメント」を活用した練習

子供たちが授業などで発表をするときに、事前に練習するための方法の一つとして「ドキュメント」を活用しました。「ドキュメント」では、あらかじめ音声入力に関する設定をしておく、マイクが拾った音声を文字にすることができます。話すスピードが速すぎたりはっきりと話せていかなかったりすると、実際に話した言葉とは違う言葉で認識されてしまうので、ちょうどよい速さとはっきりとした発音が求められます。自分の話した通りに文字起こしされるかどうか、子供たちはゲーム感覚で練習することができました。人名や日常的には使わない言葉がうまく表示されないなどの課題はありますが、「はっきりと話すごとやゆっくりと話すごとを練習する方法」としては活用できるのではないかと思います。一人で練習することができるのも利点です。

【活用したときの様子】



【ドキュメントの画面】

学習発表会の読む練習

割り当て済み

メニューを検索 (Alt+/)

100% 標準テキスト Arial 11

「鼻が高く目の」と言ったが、「は」がはっきり発音できていなかった。

練習した「般若湯」はきちんと発音できていた。

「和尚、和尚」と言ったが、「お」がはっきり発音できていなかった。

天狗の書いた文字一人の男が訪ねてきた金型各面のぎ...とした男だった男上がり框にどか...と腰を下ろしていった保障保証補償はこのあた...の注射だと聞いたよ今度お願いしたい...がじゃなよ...うちようど退屈しと...ところもしわしが買ったらその時は一生の命を頂きます...まよるしいかなイトは世に...物しいもの楽しみではお昭和初期の身でありな...湯と称して酒などなどは強いかにそれは虫除けじゃわかふくじゅうには汚らわしい...ム子が一匹住んでおるよって般若湯で毎晩決めても今じゃあれば外は風が強いが風の正体とはいかに我に同じ一時退場揺らせるもした後は矛盾出羽橋から一つこの世にただひとつしかないものそれはいかにしても変えることができなかったそしてお松の前に両手をつけてしまったわしの負けたでは筆と紙をお貸し願いたい男と大きく文字を書くや否やで出て行ってしまった男の書いた文字を読み返してみた何とも奇妙な状態で人間が書いたとは思えなかったそこは天狗ではなかったかと誰かが残されていた